

IFNEC（国際原子力エネルギー協力フレームワーク） 運営グループ会合の結果概要について

令和4年7月20日
内閣府
原子力政策担当室

令和4年6月28日にIFNEC（国際原子力エネルギー協力フレームワーク）運営グループ会合（Steering Group Meeting）が、フランスにおいて開催された。日本からは、覺道 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局審議官が出席した。結果概要について以下のとおり報告する。

※IFNEC：International Framework for Nuclear Energy Cooperation

1. 開催日程・場所

- ・ 開催日時：令和4年6月28日（火）10:00-17:00（現地時間）
- ・ 開催場所：フランス OECD/NEA Conference room BB1

2. 参加国・機関等

- (1) 加盟国・オブザーバー国（13カ国）：カナダ、中国、フランス、日本、ケニア、韓国、モンゴル、ナイジェリア、ポーランド、スロベニア、トルコ、英国、米国
- (2) 国際機関（2機関）
IAEA：International Atomic Energy Agency（国際原子力機関）
WNA：World Nuclear Association（世界原子力協会）
- (3) 主要参加者
・ 運営グループ議長：アレシア ダンカン US Department of Energy（米国）
・ OECD/NEA ウィリアム マグウッド 事務局長

3. 主な結果

- (1) National Statements（参加国、機関からの報告）
各国、各参加機関から、昨今の原子力政策や活動の進捗等について、報告がなされた。多くの参加国から、カーボンニュートラルの観点からの原子力の役割についてコメントがなされた。日本からは、①2030年までの温室効果ガス46%削減に向けての原子力発電比率の見込み、②現在の原子力発電所の再稼働状況、③高レベル放射性廃棄物の最終処分地選定にあたり文献調査が開始されたこと、④革新炉の研究開発・実証の推進に関する議論が開始されたこと、⑤医療用等ラジオアイソトープ製造・利用推進アクションプランについて、原子力委員会で決定されたことを紹介した。
- (2) 議長からの報告
以下の通り、ダンカン議長から報告があった。
 - ・ 気候変動のための原子力の役割が注目され、ロシアのウクライナ侵攻のために原子力セキュリティの状況が厳しくなっている情勢の中で、IFNECは原子力ファイナンスやSMRに関するワークショップを行ってきた。多国間協力のための対話がさらに重要になってきている。
 - ・ 今年11月28日からケニアで、閣僚級会合、運営グループ会合、ワークショップを開催する。

(3) 原子力ファイナンスに関する活動報告及び意見交換

以下の通り、事務局及び関係者からのプレゼンテーション及び意見交換が行われた。

○IFNEC と NEA による原子力発電プロジェクトのための多国間ファイナンスイニシアチブ

- ・ NEA 原子力技術開発・経済課 キャメロン課長より、プロジェクトの構造及び設計について紹介があった。
- ・ その後、Pillsbury のテプリンスキー氏より、多くの金融機関が気候変動と持続可能な開発、特に再生可能エネルギーに重点を置いた戦略を有しているが、原子力に関しては、明確に排除もしくは省略されていることなどの紹介があった。
- ・ それを変えるため、何が必要なのか、どこにアプローチすべきか、今後取り組むべき事項などについて、意見交換を行った。11月の閣僚級会合（ケニア）に向け、継続して討議することとなった。

○International Bank for Nuclear Infrastructure (IBNI) 導入機関によるプレゼンテーション

- ・ IBNI は、加盟国、原子力産業、金融市場における原子力発電プログラムの新設や既存プログラムを支援することに焦点を充てた、概念的な新しい多国間国際金融機関であり、2023年の設立を目指しているとの発表があった。

○ONEA と IFNEC による原子力ファイナンスに関するレポートの概略紹介

- ・ NEA 原子力技術開発・経済課より、原子力発電所の新設に係る資金調達における資本コストとプロジェクト構造に関してのプレゼンテーションが行われた。具体的には、原子力発電所新設プロジェクトの資本コストに係る経済学的数理モデルの考察の発表であった。

(4) 運営グループからの報告

- ・ RNFSWG（燃料供給サービス供給部会）、IDWG（基盤整備作業部会）、NSCCEG（需給国関係作業部会）から、役割についての紹介、現在までの活動、今後の予定について、報告された。
- ・ NSCCEG については、共同議長である覺道審議官より、本年7月末にウェビナー「The Opportunity and Challenges of Nuclear in the Context of Carbon Neutrality」を開催することを報告。

4. 添付資料

IFNEC Steering Group Meeting Agenda

以上